



2025年度
事業計画書

公益財団法人 神戸YWCA

2025 年度 神戸 YWCA 事業・活動計画

第 34 回総会期 日本 YWCA 全国会員総会決議

■主題聖句 平和を実現する人々は幸いである
—マタイによる福音書 5 章 9 節—

■ビジョン

女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

■ミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

■バリュー

1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣って行動します。

2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくりまします。

4. セーフ スペース

会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

神戸 YWCA ビジョン
一人ひとりが大切にされる社会

神戸 YWCA ミッション
多種多様な「つながりづくり」によって、
個と集団をエンパワーする

神戸 YWCA 2025 年度活動目標
つながりの意味を深め、共に動こう

I 平和と人権事業（「平和と人権センター」所管）

「人権を擁護し、非暴力による平和な社会の実現を目指す事業」「青少年の人間性を涵養し、生涯学習を推進し、より良い社会の形成に資する人材を養成する事業」を中心となり実施していく。

<世界・社会委員会>

【活動方針・活動目標】

人権、非核、政治、経済、憲法、居住、ジェンダー、メディアリテラシー、地方自治、民主主義、働き方などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【活動計画】

●日本市民社会の民主主義を見直す～日本の「民主」社会は外国人とどう生きているのか

目的：外国人と共に生きる、よりよい日本の姿を考える。4年目のプロジェクト。

年間目標：在日韓国人や在住外国人に関する法や制度を知り、問題を明らかにする。

内容：日本社会での身近な問題に関心を持った大学生とプログラムを企画していく。

実施頻度（回数）：勉強会隔月1回ぐらい、講演会も開催

●Wチャンネルプロジェクト

目的：出会って語って、共有、共感から新しい何かを生み出す。メンバーをエンパワメントする。

内容：対面で、それぞれの思いを語り合い、普段の活動に活かす。

実施頻度（回数）：未定

グループ

■声の奉仕

【活動方針・活動目標】

視覚障がい者のための朗読奉仕活動を行う。技術向上のため月1回程度、講師による朗読の学習指導を受け、所属している兵庫県声の図書赤十字奉仕団（以下、赤十字奉仕団）を通じ、各種図書を録音・校正・編集してデジタル化したCDをリスナーに発送する。

【活動計画】

①例会

目的：声の奉仕グループの活動が円滑に行えるようにする

内容：赤十字奉仕団の運営委員会や各作業班の報告、「声のアルバム」の担当図書の企画・内容決定等

対象者：メンバー

実施日時など：原則として毎月第4火曜日12時半～14時

実施頻度：12回／年

実施場所：神戸YWCA会館

②勉強会

目的：朗読技術などの向上を目指す

内容：実際に朗読し、講師の指導を受ける

対象者：メンバー

実施日時など：原則として毎月第4火曜日14時～16時

実施頻度：10回／年（8月、12月は休み）

実施場所：神戸YWCA会館

③リスナーとの交流会

目的：リスナーとの交流を通して「声のアルバム」の水準の向上を目指す

内容：「声のアルバム」を届けているリスナーたちと一堂に会して懇談

対象者：リスナー・赤十字奉仕団のボランティアグループメンバー

実施日時など：11月23日

実施頻度：1回

実施場所：日赤兵庫県支部7階大会議室

■ジェンダーグループ

【活動方針・活動目標】

誰にでもある、ジェンダーへの疑問や思いを肩ひじ張らずに素直に語り合い、学べるような活動に
つながたいと考えている。その過程を通じ、自分への気づきから始まり、さまざまな機会が性別の
有り様にかかわらず平等に与えられ、共に支え合って生きていける社会作りを目指す。

【活動計画】

①ミーティング

目的：ジェンダーに関する活動を進める。

内容：グループ運営について

対象者：メンバー

実施日時など：未定

実施頻度：不定期

実施場所：オンライン

②フリーペーパー発行

目的：ジェンダー問題について共有する。

内容：メンバーのエッセイを掲載

対象者：メンバー、一般

実施頻度（回数）：未定

③読書会

目的：ジェンダーに関する課題について学び考える。

内容：ジェンダーに関する課題に語り合う会

対象者：メンバー他

実施日時など：未定

実施頻度（回数）：1回～2回

実施場所：未定

■ピース・ブリッジ (Peace Bridge)

【活動方針・活動目標】

- ・他団体、グループと協力して、平和構築活動を進める。
- ・学習会などを行ない、学び、語り合う。

【活動計画】

①「学び 語り合い つながる会」

目的：学びを深めて、平和への思いを共有する。

内容：テーマを設定して講師に1時間ほど語っていただき、その後参加者で語り合う。

時には、講師を呼ばずに資料などを基に語り合う。

対象者：一般

実施日時など：土曜日(14:00～16:30)

実施頻度：4回／年

実施場所：喫茶「エスポワール」

②講演会、音楽会など

内容：他団体、グループなどと協力して、平和に関する催しを行なう。

対象者：一般

実施頻度：年1回程度

■平和活動グループ

【活動方針・活動目標】

- ・憲法の価値を活かし、広める～社会生活の中で憲法を生かす。
- ・平和で人権が守られる社会実現のため学習し、行動する。～メディアリテラシーを高める。
- ・他団体・グループの活動にも参加・協働して、活動の幅を広げる。
- ・若い人の参加が得られる工夫をする。

【活動計画】

①グループミーティング・学習会

目的：グループメンバーの学習と行動準備

内容：活動方針に従い、具体的課題について学習し、行動を計画・実践する。

対象者：グループメンバー

実施日時：未定

実施頻度：10 回程度／年

実施場所：神戸YWCA会館、他

②学ぼう・喋ろう会

目的：グループメンバー以外の人たちと学習し、問題意識を共有する。

内容：時宜に適った課題について、意見交流・学習する。

対象者：一般

実施日時など：未定

実施頻度：2～3回／年

実施場所：神戸YWCA会館、他

■夜回り準備会

【活動方針・活動目標】

人権と平和の理念に基づき、対等な関係を引き続き追究し、実現したい。そもそも野宿したくない人が野宿をせざるをえなくなる根源を断つことも意識したい。物価高を上回る賃金の停滞、安保3文書等、悪化する社会の犠牲になる人がいなくなる社会を少しでも目指したい。

<方向性（暫定版）>

対等な関係を築き、常に、関係を問い直し、対象者が、解決したいことを抱えており、ご本人の意思決定が明確であり、夜回りが関わっていいならば、ご本人の意向を丁寧に聞き取り、自分たちのできる関わりの見定めをし、同意をとって協働すること。

【活動計画】

臨時ミーティング

目的：活動を停止していることについて話し合う

内容：2023年度4月から夜回り活動停止となった課題について

対象者：夜回りメンバー

実施日時など：相談の上

実施頻度：年1回以上

実施場所：神戸YWCA会館、オンラインなど

<環境・くらし委員会>

【活動方針・活動目標】

SDGs（持続可能な開発目標）、原発、温室効果ガス、ゴミ問題、プラスチック、農業、哲学カフェ、生と死、ローカルコミュニティ、防災、DIY、おひとりさまなどをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

【活動計画】

●こうふく神福のはしごプロジェクト

【2025 年度活動方針・活動目標】

セカンドハウス・プログラムは、日本YWCAと協働して今年度も実施する。今後とも福島と神戸のつながりを活かし、学びつつ関係を深めたい。

【活動計画】

① セカンドハウス・プログラム

目的：放射能被災下に生活する家族の一時保養

内容：日本YWCAとの協働事業

対象者：福島県をはじめ近隣の放射能被災下に生活する家族および単身女性

実施日時など：春休み・夏休み

実施頻度：随時

実施場所：神戸市東灘区

② はしごプロジェクト

目的：共に生きる仲間として福島の声からまなび続ける
内容：オンラインによるお話会など。
対象者：会員・会友・一般
実施日時など：未定
実施場所：兵庫県内もしくはオンライン

グループ

■讃美歌を歌おうかい

【活動方針・活動目標】

讃美歌に親しみ楽しく歌うことを目標にする。

【活動計画】

目的：讃美歌を歌う。
内容：主に讃美歌21より歌う。
対象者：一般
実施日時：第1木曜日15時～16時
実施頻度（回数）：11回／年（8月を除く）
実施場所：神戸YWCA会館

■聖書を読む会

【活動方針・活動目標】

聖書を読み、イエス・キリストの生き方に学び、日々の生活に少しでも活かせるように努める。

【活動計画】

目的：聖書をより深く読む。
内容：イエスの愛と平和を学ぶ。
対象者：一般
実施日時：第1木曜日13時30分～15時
実施頻度（回数）：11回／年（8月を除く）
実施場所：神戸YWCA会館

■文学講座

【活動方針・活動目標】

- ・文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ。
- ・更級日記を読む。

【活動計画】

目的：文学、評論、思想などを先人の著書から学ぶ
内容：更級日記をメンバーで読む
対象者：会員、会友、一般
実施日時など：第3火曜日13時30分～15時30分
実施頻度：11回／年（8月は除く）
実施場所：神戸YWCA会館

<ユース・エンパワメント委員会>

【活動方針・活動目標】

多世代協働、多世代エンパワーメント、音楽、芸術、体験的教育、演劇などをキーワードに、今でなければならぬ課題に、1年かけて取り組んでいく。

●プロジェクトは未定

グループ

■愛農人倶楽部

【活動方針・活動目標】

目的：農作業体験を通じて野菜の成長、土や自然に触れる、収穫、食べる、参加者や地域の方との交流を楽しむ

【活動計画】

内容：農作業体験（基本毎月第2日曜日定例会。7、8、11月は2回予定）

4月 ジャがいもの種芋植付けかじゃがいも追肥／5月 苺収穫と追肥、夏野菜苗植付け、種蒔き／6月 ジャが芋収穫、さつま芋苗植付け／7月 夏野菜収穫と雑草刈り／8月 雑草刈り、夏野菜収穫と世話／9月 大根、蕪種蒔き、秋野菜植付け／10月 さつま芋収穫、大根、蕪間引きと追肥／11月 玉ねぎ苗植付け、エンドウ豆類種蒔き、大根、蕪間引きと追肥、MOGMOG キャビン豊年祭／12月 大根、蕪収穫／1月 大根収穫 玉ねぎ追肥と中耕／2月 玉ねぎ追肥と中耕／3月 ジャが芋の種芋植付け

対象者：おとな、子ども

実施時期：通年

実施頻度：12～15回／年

実施場所：神戸市道場 風キャビン農園

■マザースカレッジ企画会

【活動方針・活動目標】

- ・一人ひとりがよりよく生きるために、子ども、大人が本と出合うことを支援する。
- ・「ことばの力」「ひとが生きる糧」「人が育つ」をキーワードに、研究会を実施する。
- ・参加メンバーがそれぞれの場でリーダーシップを発揮できるように支援する。

【活動計画】

①ストーリーテリング研究会大月先生

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、大人が本と出合うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、絵本、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4金曜日

実施頻度：7回／年

実施場所：神戸市青少年会館

②ストーリーテリング研究会芦田先生

目的：ストーリーテリングを通し、子ども、大人が本と出合うことを支援する。

内容：ストーリーテリング、児童文学、絵本、詩の研究

対象者：図書ボランティア

実施日時など：第4月曜日

実施頻度：6回／年

実施場所：神戸市青少年会館

③真生塾

目的：児童養護施設の子どもたちにおはなしや絵本を届ける

内容：ストーリーテリング、読み聞かせ

対象者：4、5歳の幼児

実施日時など：第3日曜日

実施頻度：6回／年

実施場所：真生塾

備考：担当者が4人から5人に増える予定。毎月開催を提案中。

<実行委員会>

■会員委員会

【活動方針・活動目標】

神戸YWCA会員の親睦のために活動する。

【活動計画】

●誕生日カードプロジェクト

目的：神戸YWCAの全会員、会友に神戸YWCAからの親睦のメッセージを届ける。

内容：誕生カード、グリーティングカードなどの発送

対象者：会員、会友

実施日時：随時

Ⅱ 総合サポート事業（「総合サポートセンター」所管）

「支援を要する人々を援助し、地域の福祉を向上させる事業」を中心となり実施していく。

■神戸YWCAまごの手

【2025 年度事業方針・事業目標】

一人ひとりが大切にされる社会をめざして、高齢者や障害者、産前産後や子どもの養育者等、支援を必要とする方々が、地域で、在宅において、自分らしい暮らしをできるだけ長く継続することができるよう、居宅介護支援、訪問介護、居住支援、地域拠点型一般介護予防の事業を実施する。

- ①各事業が連携することで、神戸YWCAまごの手全体の事業を推進する。
- ②神戸YWCA総合サポートセンターの他の事業と連携することで、地域福祉を推進する。
- ③地域包括ケアを目指して、あんしんすこやかセンター、医療機関や行政、社会福祉協議会、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ④利用者一人一人に寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ⑤サービスの担い手となる人材を確保し、育成する。研修に力を入れる。

【2025 年度事業計画】

1. 居宅介護支援事業

【活動方針・活動目標】

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続するために、居宅介護支援を実施する。

- ①利用者一人ひとりに寄り添い、切れ目のない支援を提供する。
- ②地域包括ケアを目指して、医療機関、行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所等と連携を強化する。
- ③神戸YWCA総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。
- ④質の高いサービスを提供できるよう、研修を充実させ、研鑽を積む。

【活動計画】

目的：介護保険に関する相談、申請の代行、ケアプランの作成など、介護保険サービス利用の支援を行う。

内容：・介護保険法に規定する居宅介護支援
・介護保険法に規定する介護予防支援（委託）

2. 訪問介護事業

【活動方針・活動目標】

- ①助けを必要とする人々に寄り添う支援を目指す

高齢や障害疾病等により支援を必要とする方々が、地域の中でその人らしい暮らしを継続できるよう、訪問介護員を派遣して身体介護、生活援助等のサービスを行う。また、子育て中の家族を支援するために、子育て支援員を派遣して家事援助や育児支援を行う。利用者一人ひとりに寄り添い、可能な限り切れ目のない支援を提供する。

- ②地域福祉を支え、協働する

神戸YWCA 総合サポートセンターの他の地域福祉活動と連携する。地域包括ケアを目指して、医療機関や行政、社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、他団体、他事業所などと連携を強化する。

③エンパワメントし合える職場にしてい

ニーズに応えられるよう、サービスの担い手となる人材を確保し、育成する。職員やヘルパーが介護福祉の担い手として地域社会で活躍していけるよう、キャリアアップを支援し、ストレスマネジメントにも留意し、誰もが働きやすい職場にしてい

【活動計画】

支援を要する方々に対して、居宅等を訪問して、身体介護、育児支援、生活援助、家事援助などのサービス提供を行う。サービス種類は下記のとおり。

- ・介護保険法に規定する訪問介護
- ・介護保険法に規定する介護予防訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
- ・介護保険法に規定する生活支援訪問サービス（神戸市介護予防・日常生活支援総合事業）
- ・障害者総合支援法に規定する居宅介護
- ・障害者総合支援法に規定する同行援護
- ・障害者総合支援法に規定する重度訪問介護
- ・障害者総合支援法に規定する移動支援（神戸市地域生活支援事業）
- ・産前産後ホームヘルプサービス（神戸市委託 神戸市養育支援訪問事業）
- ・養育支援ホームヘルプサービス（神戸市委託 神戸市養育支援訪問事業）
- ・子どもケアラー世帯への訪問派遣事業（神戸市委託）
- ・まごの手はーと（自費サービス）

3. 居住支援事業

【活動方針・活動目標】

誰もが地域の中で自分らしい暮らしを安心して続けることができるよう、地域包括ケアを推進する中で、人々の暮らしの基盤となる住まいについて、さまざまな理由で住宅を確保するのに困難を抱えている人からの相談を受け、希望に沿った住宅を確保し、安心して長く住み続けることができるよう、入居前から入居中までのシームレスな支援を行う。

【活動計画】

- ①入居前支援
 - ・相談窓口の設置
 - ・専門相談の実施（生活保護申請、福祉サービス利用等の支援）
 - ・不動産店への同行、契約等の支援
- ②入居中の支援
 - ・相談窓口の設置
 - ・見守り、生活支援サービス
 - ・交流拠点の活用（神戸YWCA居場所事業との連携）
- ③ネットワーク形成
 - ・居住支援法人、行政、居住支援協議会との連携
 - ・地域の居住支援ネットワーク形成（福祉系団体、不動産系団体）
- ④広報
 - ・居住支援ニュースレターの発行（年2回）
- ⑤居住支援事業の推進
 - ・居住支援ネットワーク会議の開催（月1回）
 - ・居住支援フォーラムの開催（年1回）

4. わいわいデイルーム

【活動方針・活動目標】

- ・感染予防につとめて、介護予防に資するプログラムを提供する。
- ・高齢者ができるだけ長く、生き生きとした豊かな生活を送ることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりのためのプログラムを提供する。

- ・神戸YWCAの他の事業、会員活動グループと交流することにより、多世代・多文化とのふれあいを提供する。
- ・地域の中で、利用者が安心して生活が続けることができるよう、介護・医療・福祉などの専門職との顔の見える関係をつくり、連携を図る。

【活動計画】

目的：神戸市地域拠点型一般介護予防事業（神戸市委託）

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりにつながるプログラムの提供や栄養バランスのとれた昼食の提供をすることにより、介護予防に資する活動を実施する。

内容：・リハビリ専門職、管理栄養士、歯科栄養士、薬剤師、看護師の5つの専門職による介護予防講座（神戸市派遣5回）

- ・音楽療法士、健康運動指導士、その他専門職による介護予防教室（18回）
- ・介護支援専門員、介護福祉士等による情報提供（随時）
- ・体調確認、近況確認（毎回）
- ・健康体操、脳トレ、ゲームなどのプログラム（毎回）
- ・ボランティア講師によるクラフト作成、書道、絵画教室、ストレッチなどのプログラム
- ・ボランティアによるレクリエーション
- ・昼食（お弁当、汁物）お茶菓子の提供

対象者：神戸市在住の65歳以上の高齢者

実施日時など：毎週火曜日10時30分～14時30分

実施頻度（回数）：1回／週、全47回

実施場所：神戸YWCA会館

備考：開催は神戸市規定に準じる。

■神戸YWCA保育園

【事業方針・活動目標】

- ・子どもたちの「今」を共に生きる
- ・互いの存在を大切にしながら、子育てをしている人たちを支える

【具体的活動】

- ・毎日の子どもの生活を大切にする（子どもが自分のしたいことを納得するまで行える時間を保障する）
- ・家族がほっとする受入と送り出しを行う
- ・親子で様々なことにチャレンジする
- ・YWCAの活動やそれにかかわる人たちと繋がる

【事業計画】

保育理念：キリスト教精神のもとにひとり一人の身体と心に寄り添い、いのちを大切にする保育を目指す

保育方針：・少人数で家庭的な環境で個性を大切にしつつ、生活習慣の基礎を身に着ける

- ・温かいふれあいや遊びを通して、豊かな情操を養う
- ・人と人のかかわりや絆（愛・信頼）の基礎を培う

開所日時：月曜日～土曜日 標準時間 7：30～18：30 短時間 8：30～16：30 延長保育あり

利用者：生後6ヶ月～3歳未満児

定員：12人

保育内容：・年齢、月齢にとらわれず、個々の子どもの成長に合わせた保育を行う

- ・多様な人たちと関わり、互いの違いを知る
- ・子どものやりたい気持ちに添った活動を臨機応変に取り入れる
- ・散歩や近所の公園で、楽しみながらできる遊びでしなやかな体をつくる
- ・強い刺激ではなく優しい語りや歌、繰り返し読む絵本を大切にする
- ・季節感、自然を取り入れた遊びで心を動かす体験を重ねる
- ・子どもと共に祈る（毎日の祈りと讃美歌）
- ・季節やキリスト教の行事を大切にする

職員体制：園長、保育士、看護師、管理栄養、調理師、調理員

- その他：
- ・避難訓練（1回/月）、救急訓練（1回/2ヶ月）
 - ・連携園、近隣の小規模園との交流、情報交換
 - ・近隣の方々、地域との繋がり（神戸聖愛教会絵本の部屋、花の日、地域行事参加）（夏祭り、消防訓練）
 - ・保育の質向上のため、自己評価制度を採り入れ、振り返りを行う
 - ・園内研修の実施
 - ・「小規模保育園に遊びに来ませんか」親子で参加する会を定期的に行き、保育園での生活を知っていただく

神戸YWCAつどい場

■カフェもぐもぐ

【活動方針・活動目標】

コミュニティーカフェの役割として以下のことを行う。

- ・当事者の声を聞きながら活動を進めていく。
- ・若年性認知症についての啓発活動を行う。
- ・仲間を増やす。
- ・地域に開かれたつどい場としての働きを模索する（他団体・他グループとの協働など）。

【活動計画】

①カフェもぐもぐ定例会

目的：・若年性認知症の人や家族、仲間たちがほっとしてつながる場となる。
・若年性認知症の人が集い、生きがいを持って働く事ができる場をつくる。

内容：・（午前）カフェでの食事づくりと昼食
・（午後）交流、その他
・外出プログラム（年数回）
・交流と学びのためゲストを招待（年数回）

対象者：若年性認知症の人とその仲間

実施日時：毎月第1土曜日 10時30分～15時

状況により開催日程・開催時間の変更あり

実施期間／頻度（回数）：12回／年。状況により実施回数・期間の変更あり

費用：参加費／400円 食費／400円

実施場所：神戸聖愛教会/神戸YWCA/その他

備考：スタッフミーティングは第1土曜日終了後、その他必要に応じて随時

②カフェもぐもぐ交流会

目的：若年性認知症についての啓発活動

内容：未定

対象者：若年性認知症当事者、家族、他団体、興味のある人

実施日時：未定

実施期間／頻度（回数）：1回～／年

実施場所：神戸聖愛教会/神戸YWCA/その他

③認知症サポーター養成研修（神戸市認定）

目的：認知症を学び地域で支えるためのサポーター養成

内容：神戸市認知症サポーター養成研修

講師：キャラバンメイト（神戸市認定）

対象者：興味のある人、ボランティア希望者

実施場所：神戸聖愛教会／神戸YWCA会館／ハット神戸灘の浜集会室／その他

実施日時：未定

実施期間／頻度（回数）：1回（90分）／年（未定） 費用／無料

備考：講座修了者にはオレンジリングが手渡される。

④その他

*カフェもぐもぐだより発行（年1回）

*情報収集と発信のためのネットワークづくり（他団体交流・行政・研修会参加）

■木曜カフェ

【活動方針・活動目標】

- ・神戸YWCAの交流スペースとしての活用
- ・会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごすことのできるスペースをつくる。
- ・木曜カフェのつどい場を利用して、お話や映像、演奏をする機会をもつ。
- ・バザー・ガレージセールなど他の催しへの参加。

【活動計画】

①常設木曜カフェ

目的：YWCAの交流スペースとしての活用

＊会員、ボランティア仲間、神戸YWCAに関わる人々、地域の人々が気軽に立ち寄り、過ごす事の出来るスペースとする。

内容：飲み物提供（紅茶・コーヒー・その他）

木曜カフェのつどい場を利用し、お話しや映像、演奏する機会をもつ。

対象者：一般

実施日時：隔週木曜日（第2・第4）13時30分～15時30分

実施場所：神戸YWCA会館、その他

②バザー、ガレージセールなど他の催しへの参加

目的：広報・ファンド

内容：飲み物提供（紅茶・コーヒー・その他）

対象者：一般

実施日時：随時

実施頻度：随時

実施場所：神戸YWCA会館、その他

③リサイクル品、古本などの物販

目的：ファンド

内容：リサイクル品、古本、カードなどの販売

対象者：一般

実施場所：神戸YWCA会館

■ちやいやあらんど

休会

Ⅲ 多文化共生事業（「多文化共生センター」所管）

「国際理解を推進し、多文化共生社会の実現を目指す事業」を中心となって実施していく。

神戸YWCA学院

■日本語コース

【事業方針・事業目標】

「安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

【事業計画】

①しよきゅうにほんごクラス

目的：クラス形式で日本語を学びたい学習者を対象にした1日2時間、週2日のクラス。

日本で生活している、または生活する予定がある学習者を対象に、すぐに使える実用的な日本語のレッスンを行う。日本語の構造、聞く、話す、書く、読む、を総合的に学習することで、実用的で正しい日本語を身に付けることを目指す。

対象者は初級レベルの学習者とする。

内容：文法、会話、発音、文字などの総合学習

対象者：初級

実施日時：2025年4月～2025年11月

実施期間：3回／年、8週or7週／回 2日／週 各日2時間

実施場所：神戸YWCA会館

②プライベートレッスン

目的：学習者のレベルと要望に沿った授業を提供する。

内容：・学習内容は学習者の希望に沿う。

・キリスト教の日本語/子どもの日本語/各種試験対策等、神戸YWCAの日本語コースの特徴を生かした分野での個別指導。

・オンラインレッスン応相談。

対象者：個別レッスン希望者

実施期間：2025年4月～2025年12月

実施頻度（回数）：随時

実施場所：神戸YWCA会館

③プライベート講師派遣 ショファイユの幼きイエズス会

目的：新規に来日したショファイユ幼きイエズス会の研修生への日本語レッスン

内容：ショファイユ幼きイエズス会の研修に必要な日本語・オンラインレッスン応相談。

対象者：新規に来日したショファイユ幼きイエズス会の研修生2人

実施機関：2025年4月～2025年12月（予定）

実施頻度：2日／週 2時間／日 30回（予定）

実施場所：ショファイユ幼きイエズス会

④兵庫県立神戸高等技術専門学院委託訓練事業

「定住外国人向け日本語・就業力スキルアップコース」

目的：正式な日本語教育を受ける機会がなかった外国人（日本国籍含む）生活者が将来自立した生活を営めるよう、日本語と基礎的なビジネススキルのレベルアップを図る。

内容：就職に必要な正確な基礎日本語、面接時の日本語、ビジネスマナー、基礎的なITスキル、職場見学、職業人講話など（予定）

対象者：初心者向け（予定）

実施日時：2025年9月12日～12月11日

実施期間：3カ月（予定）、5日／週、各日9時30分～16時10分（50分×6コマ）（予定）

実施場所：神戸YWCA会館 3階・4階・5階

備考：受講者申込先などはハローワーク

⑤子ども日本語トータルサポート（はっぴー・すくーる 神戸Y）

a) 外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語学習支援プログラム

「勉強に役立つ日本語クラス」

目的：日本語を母語としない外国人児童・生徒（日本国籍を含む）の生活日本語と教科日本語を指導する。支援者向見学・交流会の実施

内容：日本語指導、教科日本語指導、勉強会開催

対象者：・日本語を母語としない13歳以上の外国人児童・生徒（日本国籍／成人も含む）

・日本語学習支援者

実施日時：2025年4月～12月

実施期間：2025年7月22日～8月1日 各日9時30分～16時00分のうち45分×2コマ（予定）

9月～12月学校のない平日、土曜日

実施場所：神戸YWCA会館、オンライン

b) 外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語学習支援プログラム「はっぴー・すくーる」

目的：勉強日本語に参加した子どもたちがその後も交流できる場所を作る

内容：日本文化体験プログラム、交流プログラム、先輩の話を聞こうの開催

実施日時：2025年7月～12月

実施頻度（回数）：原則1回／月（年間2回程度予定）

実施場所：神戸YWCA会館／オンライン／関係団体施設など

安心して地域で暮らせる」ための日本語教育を行う。

■日本語教師養成コース

【事業方針・事業目標】

国際的な広い視野を持ちながら、地域社会のニーズにも対応して日本語を教えることのできる日本語教師や日本語ボランティアを養成する。

【事業計画】

①日本語教育実習受け入れ

目的：日本語教育を学ぶ大学生に教育実習の場を提供する。

内容：神戸女学院大学等の実習の受け入れ

実施日時：2025年8月上旬

実施期間：5日間

実施頻度（回数）：1回

実施場所：神戸YWCA会館

②日本語ボランティア養成講座

目的：日本語ボランティアの発掘と育成

内容：日本語教育の考え方を講義・演習で学ぶ。状況によってはオンライン開催。

対象者：日本語に興味がある方、日本語ボランティアをしてみたい方、現在ボランティアをしているが教え方が分からない方など。

実施日時：土曜日10時～12時30分 全5回

実施期間：①5月17日～6月14日 ②続編6月28日～7月19日

実施頻度（回数）：2回

実施場所：神戸YWCA会館

③「やさしい日本語」講師派遣

目的：日本人と外国人の共生ツール「やさしい日本語」の普及

内容：「やさしい日本語」の出前ワークショップ

対象者：国際交流協会、地方自治体、日本語ボランティア教室、外国にルーツをもつ子どもの通う学校や保育園・幼稚園、自治会など

実施日時・期間など：随時

実施場所：派遣先／オンライン

④アドバイザー派遣

目的：日本語ボランティアのスキルアップと育成

内容：他団体において活動する日本語ボランティアへのアドバイスや指導を行う。

対象者：国際交流協会、日本語ボランティア教室など

実施日時・頻度など：随時

実施場所：派遣先／オンライン

■外国語コース

【事業方針・目標】

- ・国際理解の手段としての外国語を学ぶ場を提供する。
- ・国際理解、多文化共生を進めるプログラムを提供する。
- ・受講生のニーズに応じたクラス・プログラム運営に努める。

【事業計画】

①レギュラーコース

目的：相互理解のための外国語をネイティブ講師から学び、コミュニケーションスキルを伸ばせる少人数のクラスを提供する。

内容：英語（初級～中上級2クラス）を実施

対象者：一般

実施日時など：水・土曜日、10時～11時30分、11時15分～12時45分（計2クラス）

実施期間：12回／学期、Spring termのみ実施

実施頻度（回数）：1回／週

実施場所：神戸YWCA会館

②プライベートコース

目的：個人または少人数グループのニーズに応じてフレキシブルな外国語のレッスンを提供する。

内容：英語などのプライベートレッスンを実施

対象者：一般、学生

実施日時など：学習者のニーズにあわせて日時・講師を決定

実施頻度（回数）：原則週1回（60/90分レッスン）、10回／1クール

実施場所：神戸YWCA会館

③プログラム名：カスタムコース

目的：学習者の目的に特化した内容でカスタマイズした外国語クラスを提供する。

内容：シニア英会話

対象者：一般 ＊原則として3人以上で開講

実施日時など：火曜日10時30分～12時

実施期間：Spring termのみ実施

実施頻度（回数）：12回／学期

実施場所：神戸YWCA

④オフキャンパス

目的：他団体・学校・グループなどから外国語レッスンの業務を請け負う。

内容：・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校（外国語Ⅱ英語、2年生・3年生各1クラス）
・関西労災看護専門学校（英語1年生1クラス）

対象者：専門学校生

実施日時：・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校：金曜日

・関西労災看護専門学校：月曜日

実施期間（回数）：・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校 7回×2学年

・関西労災看護専門学校 27回

実施場所：・公益財団法人尼崎健康医療財団看護専門学校

・独立行政法人労働者健康安全機構関西労災看護専門学校

■文化教養コース

【事業方針・事業目標】

芸術・文化に触れ、エンパワメントされる講座を企画する。

【事業計画】

①ピアノレッスン

目的：ピアノを通して音楽を楽しむ

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後～夜

実施頻度（回数）／期間など：1～2回／月

実施場所：神戸YWCA会館

②発声・歌唱レッスン

目的：ボイストレーニング・歌を通して音楽を楽しむ

内容：それぞれの目標に合わせたプライベートレッスン

対象者：一般（子ども～成人）

実施日時など：月曜午後～夜

実施頻度（回数）／期間など：1～2回／月

実施場所：神戸YWCA会館

■多文化共生ボランティア部

内容未定

V 活動共通事業

■運営委員会

【活動方針・活動目標】

- ・明確化されたミッションに沿った活動を行う。神戸YWCAとして大切にすべきことを確認し、行動に移す。
- ・しなやかで強く、安心して活動できる組織に基づき、活動を推進する。
- ・ユース・ミドル・シニアのすべての世代が協働した活動を推進する。
- ・円滑な会員活動のためのサポート

【活動計画】

①定例運営委員会

目的：活動方針・目標を達成するための議論と決定

内容：・会員活動関連の協議

- ・世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA、他団体からの要請および連帯など
- ・定期的な運営委員研修の実施

対象者：運営委員

実施頻度：12回／年

実施場所：神戸YWCA会館他、状況に応じてオンライン含む

②第106回定期会員集会

目的：神戸YWCAの会員が主体的に組織運営にかかわること、ならびに会員同士の交流

内容：・2025年度活動報告と2026年度活動計画の承認

- ・運営委員と指名委員の承認など

対象者：会員(会友、その他希望者も参加可能。ただし議決権はない)

実施日時：2026年3月14日(土)

実施頻度：1回／年

実施場所：神戸YWCA会館

③会員組織の推進

目的：・神戸YWCAのミッションに沿った会員活動の推進の評価と改善

- ・会員組織への理解促進

内容：・委員会運営チームの運営

- ・キックオフミーティングの開催
- ・オープンミーティングの開催

対象者：会員、会友、およびグループメンバー

実施日時：キックオフミーティング(6月)、オープンミーティング(11月)

④つながるプロジェクト

目的：会員のエンパワメントおよび情報交換

内容：会員活動の情報を共有する「つながるメール」の配信。スピーディーに配信するためにも配信頻度、配信内容などを検討する。

対象者：「つながるメール」は会員・会友対象

実施頻度：随時／年

■キリスト教基盤委員会

【活動方針・活動目標】

- ・神戸YWCAの活動に参加する全ての人が、キリスト教基盤を理解し、共有する。
- ・「キリストの平和」を学び伝える。

【活動計画】

①キリスト教講演会

目的：YWCAにおけるキリスト教基盤を知り、共有するための取り組み

対象：会員およびYWCAで活動する人々

内容：「キリストの平和」について学ぶ

実施日時：随時

実施場所：未定

②イースター関連プログラム

目的：会員と共にイースターの意味と喜びを知る。

内容：未定

実施日時：未定（今年のイースターは4月20日（日））

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YMCA、その他

③神戸YMCA／YWCA合同祈祷週

目的：世界中のYMCA／YWCAは、毎年11月の第2週目の日曜日を起点とする1週間を合同祈祷週とし、1904年以来毎年共に祈りの時を守っている。この1週間、YMCA／YWCA運動が、よりよい世界を実現するための基盤となる魂のビジョンを再確認する。

内容：合同祈祷週礼拝。期間中それぞれがプログラムを計画（1回～数回）

対象者：神戸YMCA会員、神戸YWCA会員および一般

実施日時：11月9日（日）～15日（土）＊礼拝は11月11日（火）

実施頻度（回数）：1回／年

実施場所：神戸YMCA、神戸YWCA、その他

④神戸YWCAクリスマス

目的：会員がクリスマスの意味を学ぶ。イエスの誕生の喜びを届け、共に祝う。

内容：未定

対象者：神戸YWCA会員および一般

実施日時など：12月6日（土）

実施頻度：1回

実施場所：未定

⑤プログラム名：世界祈祷日

目的：世界祈祷日国際委員会が中心となり、世界中で教会の女性たちによって実施される。テーマにそって共に祈り合い、キリストの愛を世界に広める。世界祈祷日の献金は、式文作成国の女性たちの活動、また、国内外の女性たちのための活動に捧げられる。関係団体との連携。

内容：礼拝（礼拝内容企画の担当団体の持ち回り）

対象者：神戸阪神地区キリスト教各教会教派・団体メンバーおよび一般

実施日時：2026年3月6日（金）予定

実施頻度：1回／年

実施場所：未定

■HAT神戸・灘の浜プロジェクト

【活動方針・活動目標】

HAT 神戸・灘の浜南集会所を活動拠点として活用し、管理運営を行う。入居者の少子高齢化等の課題に対応し、地域コミュニティの活性化を図る。

【活動計画】

目的：高齢化の進む災害復興公営住宅の集会所を拠点に、地域課題を見つけ解決策を探り、地域コミュニティの活性化を行うことを目的に、地域の「サード・プレイス」となれるよう動いていく。

内容：・イベント、プログラムの実施（居住者との交流機会の創出など）

- ・地域コミュニティとの関係づくり、および地域調査
- ・バザー、リサイクルショップ、カフェの開催
- ・集会所の維持管理運営、集会所の貸与
- ・運営委員会、拡大会議などの開催

実施場所：神戸市 HAT 神戸・灘の浜住宅南集会所

対象者：地域住民、地域活性化に資する団体

VI 広報・ファンドレイジング

■機関紙編集委員会

【活動方針・目標】

・会員、会友、賛助員、寄付者、他市YWCA、神戸にある主なキリスト教会、関係団体はじめ、広く一般に神戸YWCAの活動を伝える機関紙を発行する。

【活動計画】

●機関紙の発行

内容：『神戸YWCA機関紙』の製作と編集委員会の開催

発行回数：2回／年（6、11月）

発行部数・対象：900部

メンバー：機関紙編集委員

■ファンドレイジング実行委員会

【活動方針・活動目標】

- ・会員活動の持続可能なファンドレイジングの形を検討および実施する。
- ・ファンド・広報について情報収集に努め、神戸YWCAを知ってもらう機会を増やす。

【活動計画】

①定例ミーティング

目的：マネージングの視野を持ち、持続可能なファンドレイジングを目指す。

内容：バザーおよびそれ以外にファンドとなりうる活動の検討

対象者：委員会メンバー

実施頻度（回数）：月1回

実施場所：神戸YWCA会館（オンライン形式を含む）

②物品販売

目的：神戸YWCAの活動資金を得るため

内容：はるいさんの天然はちみつ、アドベント・クリスマスカレンダー、カード、ケニア紅茶、チャリティ・ドリップコーヒーなどの販売

対象者：一般

実施頻度／期間など：通年

実施場所：神戸YWCA会館

③会館ミニバザー

目的：神戸YWCAの活動資金を得るため

内容：未定

対象者：一般

実施頻度／期間など：未定

実施場所：神戸YWCA会館

VII 施設貸与

【方針・目標】

神戸YWCAの施設を公益に資する団体等に貸与することで、公益事業の推進を図る。

【活動計画】

内容：公益目的事業に資する団体および個人に神戸YWCAの施設を貸与する。

実施場所：神戸YWCA会館、HAT神戸・灘の浜住宅南集会所

VIII 理事会

【方針・目標】

- ・神戸YWCAの中長期ビジョンを目指して、引き続き「人」「財」が適切に配置された安定的な神戸YWCAとするために、財政構造および組織構造改革にとりくむ。
- ・神戸YWCAの中長期ビジョンを具体化する。

【活動計画】

- ・閉じる事業および関係者に対する適切な対応と着地、会館売却に向けてスムーズな引き渡しを実施する。
- ・財政チーム、人事チームを引き続き実施し、予算達成を目指すと共に毎月の資金繰りを円滑にする。
- ・自立援助ホーム開設のための、実施場所など具体的な準備を進める。